

2023/7/31 第47号

令和5年度活動計画・予算決まる 財団の定期理事会開催



理事会の様子

令和5年度活動計画と収支予算を審議する理事会が4月11日に開催され、当日出席された役員（理事・監事）の賛成により承認されました。活動計画の概要についてご報告いたします。

なお、収支予算についてはホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

<https://www.niigata-award.jp/contents/about/index.html>

令和5年度活動計画（令和5年5月1日～令和6年4月30日）

令和5年度は、第8回食の新潟国際賞の推薦募集事業と、受賞候補者の選考活動を行い、公募活動を通じて財団と国際賞の国内外への広報活動を積極的に行い、認知度アップを図る。

また、令和5年は佐野藤三郎氏の生誕100年にあたることから関係団体と共同で「佐野藤三郎生誕100年記念事業」を実施し、事業を通じて佐野氏の認知を広め、顕彰するとともに今後の新潟の情報発信や発展につなげる。

また、財団のネットワークを活かし行政や産業界、大学研究機関との連携により、食品産業や農業をテーマにした講演会やセミナー、研究会を開催し食に関する最新の情報の収集と提供に努める。

特に若者の食と農分野への関心を高め財団とのネットワークの構築を図るために、学生ビジョンコンテストを開催し、国際賞の広報と食品産業や農業の人材育成につなげる。

第8回食の新潟国際賞選考委員名簿(敬称略)

構成	氏名	所属・職名
委員長	唐木 英明	食の信頼向上をめざす会代表 東京大学 名誉教授
委員	赤阪 清隆	(公財)ニッポンドットコム 理事長 元 国連事務次長、国連日本政府代表大使
委員	阿部 啓子	(一社)バイオインダストリー協会 代表理事会長 東京大学名誉教授・特任教授
委員	今野 正義	日本食糧新聞社 代表取締役会長CEO
委員	清水 誠	東京大学 名誉教授 東京農業大学 客員教授
委員	生源寺真一	日本農業研究所 研究員 東京大学名誉教授
委員	西澤 直子	石川県立大学 学長 東京大学 名誉教授
委員	平沢 裕子	産経新聞社 東京本社 編集企画部 記者 (一社)日本乳業協会 理事
委員	原田 惇	新潟県農業総合研究所 食品研究センター長
委員	青山 浩子	新潟食料農業大学 准教授 (公社)日本農業法人協会 理事

1. 理事会・評議員会・役員懇談会の開催

(1) 理事会開催

定時理事会

(令和5年6月26日、令和6年4月 於：新潟市)

(2) 評議員会開催

定時評議員会

(令和5年7月 書面決議)

(3) 役員懇談会の開催

評議員・理事・監事・顧問懇談会

(令和6年2月 於：新潟市)

令和5年度活動計画（令和5年5月1日～令和6年4月30日）

2. 第8回食の新潟国際賞の受賞者選考と表彰事業の開催

「第8回食の新潟国際賞」の受賞候補者推薦募集活動を行い、選考委員会の設置及び選考作業を実施する。

（1）国際賞推薦募集活動

①第8回国際賞推薦要項の決定

理事会（6月）において国際賞推薦要項を決定

②推薦依頼・推薦募集事業（令和5年9月～同年12月末）

受賞候補者の推薦依頼を下記の国内外の機関・団体、個人などに依頼するとともにホームページやメールにて広く推薦を呼びかける。

（2）選考事業（令和5年6月～令和6年5月）

① 国際賞選考委員会の設置及び選考作業

イ.第8回食の新潟国際賞選考委員並びに委員長を理事会(令和5年6月)において決定し委嘱する。

ロ.選考要領の決定(令和5年11月)選考方針、選考方法、評価法について、第8回選考委員長が選考要領を定める。

ハ.推薦書書類整理(令和6年1月～2月)事務局による申請書の整理及び選考員長との事前協議。

ニ.第1次書類審査 各選考委員による書類審査、評価表の提出。

ホ.選考委員会の開催(令和6年5月開催予定)選考委員会を開催し複数の受賞候補者を選考し理事会へ答申。

② 受賞者の最終決定(令和6年6月)提出された受賞候補者から理事会において受賞者を決定する。

（3）表彰事業の開催(令和6年11月20日(水) 於：新潟市)（表彰式・記念講演会・祝賀交流パーティー）

3. セミナー・講演会・交流会の開催（財団自主事業）

食の新潟国際賞親善大使や財団のネットワークを生かした講師招聘による講演会・セミナーの開催。

（1）会員連続セミナー（年3回）

会員の関心あるテーマを中心に会員限定のセミナーの開催

（予定テーマ）

①新潟の食品産業について ②佐野藤三郎氏について ③食料安保

（2）特別講演会（年2回）会員と市民向けの公開講演会（WEB）

国際賞受賞者から受賞後の研究活動と成果について講演

（予定講師）

① マーシー・ニコル・ワイルダー氏（第4回佐野藤三郎特別賞受賞者）

国際農林水産業研究センター 水産領域プロジェクトリーダー

2023年度日本農学賞・読売農学賞受賞

② 大坪 研一氏（第6回佐野藤三郎特別賞受賞者）

新潟薬科大学 特任教授

2022年度日本農学賞・読売農学賞受賞

（3）新春講演会（新年を迎えての食と農の展望をテーマにした講演会）

シンポジウム形式を検討 テーマ 未定

令和6年 2月 開催予定

4. 佐野藤三郎氏の顕彰・広報活動 佐野藤三郎生誕100年記念事業の開催

令和5年は佐野藤三郎氏の生誕100年（1923年11月25日誕生日）にあたることから関係団体と協力し生誕100年記念事業実行委員会を組織し、記念事業を開催する。

（1）主要事業

① 記念式典・シンポジウム及びセミナー（市民向け）の開催

② 佐野藤三郎氏の名誉市民称号受賞運動

③ 記念資料作成及び配布（佐野藤三郎氏の足跡・歩み・寄稿文）

④ 佐野藤三郎氏のマンガ出版・配布・販売（財団独自事業）

⑤ 佐野氏ゆかりの地を巡る小ツアー

⑥ 児童・生徒を対象とした佐野藤三郎氏の認知拡大事業（教育用教材の整備・拡充）

⑦ マスコミ等との共同・協賛企画事業

（2）事業期間 令和5年4月～令和6年3月

（3）佐野藤三郎氏の周知拡大のための広報活動

佐野藤三郎氏関連の資料の作成配布

令和5年度活動計画（令和5年5月1日～令和6年4月30日）

5. 受託事業

- 新潟「食と健康」フォーラム開催事業（食と花の世界フォーラム組織委員会事業受託）
新潟「食と健康」フォーラム開催に関わる企画・運営事業を受託する。
併せて会場内に県内企業の機能性食品の展示紹介コーナーを併設し県内食品企業の紹介を行う。

月日(曜)	行 事	会 場
10月22日(日) 13:30～16:00	新潟「食と健康」フォーラム ～新潟のお米と食文化～(仮題)	新潟市いくとぴあ食育・花育センター

6. 食料産業分野の人材育成と大学との連携促進事業

「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト2023の開催
県内学生の食と農への関心高め、県内食料産業の将来を担う人材育成を図り併せて財団の周知拡大と県内大学との連携を図る。学生（大学・大学院・専門学校等）を対象とする、「新潟の食品産業・農業の活性化・振興」をテーマにしたビジョン発表コンテストを開催する。

- (1) 開催時期 参加エントリー締め切り 6月16日（金）
参加者オリエンテーション 6月24日（土）
第1次審査（書類） 10月16日（月）
決勝大会・表彰式 11月18日（土）
会場 開志専門職大学 紫竹山キャンパス
- (2) 表彰 最優秀賞（1件）優秀賞（2件）特別賞（7件）

7. 地域貢献事業の企画および参加協力

食に関する共同企画事業を行政・マスコミ・大学・研究機関・国際機関・経済団体とのタイアップにより計画し、講演会・国内外視察団・調査研究などの共同企画事業を実施する。

- (1) SDGs推進事業
地域創生プラットホーム（新潟日報社内事務局）への参加と共同事業開催
①「SDGs啓発セミナー」（年間 5回～6回）
②「新潟SDGsアワード」（令和5年3月開催予定）
「食の新潟国際賞財団 特別賞」の授与、アワード記念講演への協力
③シンポジウムの開催

8. 広報活動

第8回食の新潟国際賞の推薦募集や佐野藤三郎生誕100年記念事業を通じて 国際賞や財団の活動の周知拡大に努める。特に海外への情報発信を充実する。

- (1) ホームページ
(2) 財団通信（Niigata Award News）
(3) 財団紹介パンフレット（改訂版）
(4) セミナー及び講演記録の広報 財団主催の講演内容をまとめて配布する。
(5) 中国黒龍江省ジャムス大学における「新潟館」でのPR事業
- ・ジャムス大学外国語学院内の展示室「新潟館」内でのPR展示物の入れ替え。
「新潟館」は財団訪中団の派遣交流により中国黒龍江省政府とジャムス大学の協力により、2018年第3次財団訪中団派遣時に展示館を開館
 - ・主な展示内容
 - ① 佐野藤三郎氏と三江平原開発協力活動の紹介（パネル・パンフ）
 - ② 食の新潟国際賞財団および国際賞の紹介（ビデオ・パンフ）
 - ③ 新潟県・新潟市の観光紹介（ビデオ・パンフ）
 - ④ 新潟県内の食品産業のサンプル及びパンフレットの展示紹介

令和5年度活動計画（令和5年5月1日～令和6年4月30日）

企画運営委員会 名簿

9. 企画運営委員会の開催

財団の運営安定化と積極的な事業活動を展開するために企画運営委員会を設置し財団事業活動の協力や理事会への提言および財団事務局へのサポートを行う。

- (1) 開催 年4回開催予定
- (2) 主な協議事項
 - ・主要事業の計画及び予算についての意見・提言
 - ・主要事業の事業実施・運営のサポート

区分	氏 名	所属・職名
委員長	大坪 研一	新潟薬科大学 応用生命科学部 特任教授
委員	高橋 肇	亀田製菓(株) 執行役員 食品開発研究所 所長
委員	浅野 和男	(株)ブルボン 常務取締役 執行役員
委員	高島 正樹	一正蒲鉾(株) 取締役 経営企画部長
委員	西海 理之	新潟大学 農学部 部長・教授
委員	大塚 清一郎	新潟日報社 執行役員 総合プロデュース室長
委員	遠藤 二郎	亀田郷土地改良区 事務局長
委員	武本 俊彦	新潟食料農業大学 食料産業学部長 教授
委員	鈴木 伸作	(公財)食の新潟国際賞財団 常務理事
オブザーバー	高野 好弘	NSGグループ 役員室長

10. 資金基盤の確立

寄付者・賛助会員の拡大により、財団の資金基盤の強化に継続して取り組む。

- (1) 寄付金募集活動（正会員）
 - 公益財団法人の寄付金の税制優遇制度を生かし寄付者の募集活動に努める。
- (2) 賛助会員募集活動（法人・個人）
 - 企業・団体・個人への賛助会員の入会勧誘活動を積極的に行う。
 - 特典として財団通信はじめ情報の提供、財団主催セミナー・シンポジウムの案内、国際賞表彰式・交流祝賀会への招待など。

11. 賛助会員拡大事業

賛助会員の新規加入者の勧誘と会員継続活動に取り組む。

- (1) 紹介・勧誘・拡大事業の実施
 - 役員・会員等からの紹介を得て、賛助会員の勧誘・拡大を行う。
- (2) 賛助会員の拡大に結びつく事業の検討
 - 各種事業を通じて、公益財団法人を支える個人会員の拡大につなげる。
 - 実施事業と、財団や佐野藤三郎氏の認知度、会員拡大が連動する仕組みづくり。
- (3) 寄付者・賛助会員の状況

年度	寄付者	賛助会員		合計
		企業団体	個人	
令和元年	19	41	81	141
令和2年	19	43	180	242
令和3年	18	46	180	244
令和4年	18	48	185	251

12. 食と花の世界フォーラム組織委員会への参加

食と花の世界フォーラム組織委員会へ参加し協力連携を強化し、共同事業に参画する。

- (1) 「フードメッセ in にいがた 2023」（11月8日～10日）
- (2) 新潟市食文化創造都市推進プロジェクト事業協力
- (3) 新潟「食と健康」フォーラム開催（10月28日）

13. ネットワークの構築と事業参加及び協力

国内外の国際関係機関・行政・企業・大学・経済関係団体等との連携を図り、事業に積極的に参加・協力をする。

- ① F A O（国際連合 世界食糧農業機関）、W F P（国連世界食糧計画）などの国際機関や J I C A（国際協力機構）、(公財)フォーリン・プレスセンターとの交流及び連携活動。
- ② 国・新潟県・新潟市などの行政や経済団体との連携と事業の参加。
- ③ 新潟市内在外公館や国際交流機関・団体・経済研究所との交流・連携。
- ④ 県内大学・研究機関との連携関係協働事業に参加し、連携関係を進展させる。
- ⑤ 6次化産業の振興と育成事業への参加
新潟市農業活性化研究センター及び（一社）健康ビジネス協議会との連携協力。

佐野藤三郎生誕100年記念事業実行委員会発足

財団名称の冠となっている故佐野藤三郎氏の、生誕100年記念事業実行委員会が発足し、第1回会議が3月24日に開催されました。

今後一年間、この実行委員会が中心となり、記念事業等を実施いたします。

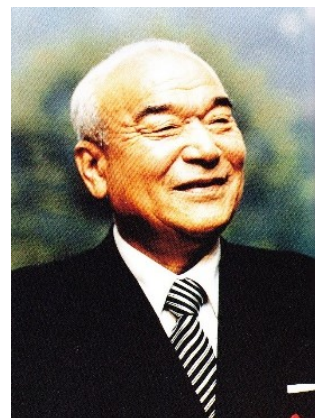
【佐野藤三郎氏生誕100年記念事業実行委員会】

1. 目 的

2023年11月25日に佐野藤三郎氏の生誕100年を迎えるにあたり、2023年を佐野藤三郎氏生誕100年の記念の年として記念事業を開催する。

記念事業では佐野藤三郎氏の偉業と功績を称え、広く内外に伝えるとともに次世代につなぎ、佐野氏の遺したものを考え、発展させる起点とする。

この記念事業をより広い市民運動にするため、趣旨に賛同する団体で構成する実行委員会を組織し実施する。



2. 構 成 案

(趣旨に賛同する個人・団体) 順不同 ▶

佐野藤三郎氏生誕100年記念事業実行委員会 名簿

団体・機関名	代表者職名	氏 名
(公財)食の新潟国際賞財団	理事長	池田 弘
亀田郷土地改良区	理事長	杉本 克己
新潟商工会議所	会頭	福田 勝之
新潟経済同友会	代表幹事	吉田 至夫
亀田商工会議所	会頭	五十嵐 豊
新潟日報社	代表取締役社長	佐藤 明
新潟県土地改良事業団体連合会	会長	帆苅 謙治
新潟県日中友好協会	会長	五十嵐 祐司
新潟県対外科学技術交流協会	会長	中山 輝也
(公財)古泉財団	代表理事	古泉 肇
にいがた22の会	会長	五十嵐 祐司

3. 主な事業(案)

- (1) 記念式典・シンポジウム及びセミナーの開催
- (2) 佐野藤三郎氏の名誉市民称号授与運動
- (3) 記念資料配布(佐野藤三郎氏の足跡・歩み・寄稿文)
- (4) 佐野藤三郎氏のマンガ制作及び出版、配布・贈呈
- (5) ゆかりの地を巡る小ツアー
- (6) 子供・若者への周知啓発。新潟市の学校教材化事業
- (7) マスコミ等との共同・協賛企画事業

(協力団体)

(一社)新潟青年会議所、(公財)新潟県国際交流協会、(公財)新潟市国際交流協会

4. 呼びかけ人

(公財)食の新潟国際賞財団	理事長	池田 弘
亀田郷土地改良区	理事長	杉本 克己
亀田商工会議所	会頭	五十嵐 豊
新潟日報社	代表取締役社長	佐藤 明
新潟県土地改良事業団体連合会	会長	三富 佳一
(公財)古泉財団	代表理事	古泉 肇
新潟県日中友好協会	会長	五十嵐祐司
にいがた22の会	会長	五十嵐祐司
(株)キタック	代表取締役会長	中山 輝也



5. 事業期間

2023年3月から2024年3月末

6. 事務局及び推進委員 名簿 ▶

区 分	氏 名	所 属・職 名
委員	伊藤 忠雄	新潟大学 名誉教授
委員	望月 迪洋	「新潟研究」事務所・主宰
委員	原 崇	新潟日報社 論説編集委員
委員	荒木 剛	亀田郷土地改良区 総務課長
委員	村山 初太郎	新潟県日中友好協会 事務局長
委員	長谷川 克弥	にいがた22の会 事務局長
委員	藤井 大三郎	五十嵐建設工業(株) 顧問
委員	鈴木 伸作	(公財)食の新潟国際賞財団 常務理事
事務局長	駒形 正明	(公財)食の新潟国際賞財団 事務局長

「にいがた食の農の未来」学生ビジョンコンテスト2023

第2回となる、「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテストを今年も開催する。新潟県内の大学等の学生を対象に、将来の画期的なビジョンを提案し、プレゼンテーションしてもらう大会。

新潟県内の大学等との連携促進や人材育成、食品企業等との出会いの場の提供を目的としている。

エントリーを募集したところ、14の大学、専門学校、高等専門学校等から45チームのエントリーがあった。

決勝戦大会は11月18日(土)に開催されます。

1. 事業内容：

新潟県内の大学等に通う学生を対象に、新潟の食品産業や農業及び関連産業の課題解決と、持続可能な産業として将来さらに大きく発展するためのアイデアや画期的な提案を募集する。審査委員と対面でプレゼンテーションを行い、最優秀賞はじめ各賞を決定し表彰する。

関連するセミナーや見学会・交流会等を実施し、産業の課題や現状等への関心と認識を深め、将来これらの産業に携わる人材の育成につなげる。



2. 参加資格：

新潟県内の大学、大学院、短期大学、専門学校、農業大学校、高等専門学校の学生で、2名以上のグループでの参加とする。

3. 募集課題：テーマ(自由テーマとする)

4. 開催日程：

- | | |
|----------------|--|
| ①エントリー締切り | 令和5年6月16日(金) |
| ②参加者オリエンテーション | 令和5年6月24日(土) |
| ③作品(ビジョン)提出締切り | 令和5年9月22日(金) |
| ④第一次審査 書類審査 | 令和5年9月25日(木)～10月16日(月) |
| ⑤審査委員会 | 令和5年10月18日(木) |
| ⑥決勝大会 | 令和5年11月18日(土) 会場：開志専門職大学(新潟市中央区紫竹山6-3-5) |



5. 後援：

農林水産省北陸農政局、新潟県、新潟市、(公財)古泉財団、JAグループ新潟、新潟日報社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、FM新潟77.5(予定)

6. 協賛：

亀田製菓株式会社、株式会社ブルボン、一正蒲鉾株式会社、サトウ食品株式会社、株式会社栗山米菓、株式会社エイケイ

学生ビジョンコンテスト実行委員会 名簿

構成	氏名	所属・大学名	職名
委員	西海 理之	新潟大学	農学部長 教授
委員	細谷 祐二	新潟県立大学	国際経済学部 教授
委員	永井 徹	新潟医療福祉大学	健康科学部 健康栄養学科 教授
委員	武本 俊彦	新潟食料農業大学	食料産業学部 教授
委員	重松 亨	新潟薬科大学	応用生命科学部 教授
委員	高橋 肇	亀田製菓(株)	執行役員 食品開発研究所 所長
委員	浅野 和男	(株)ブルボン	常務取締役執行役員
委員	高島 正樹	一正蒲鉾(株)	取締役 経営企画部長
委員	大塚 清一郎	新潟日報社	執行役員 営業統括本部副本部長 総合プロデュース室長
委員	小見 禎彦	JA新潟中央会	農業地域対策部 部長
委員	遠藤 二郎	亀田郷土地改良区	事務局長
委員	鈴木 伸作	財団	常務理事
事務局	駒形 正明	財団	事務局長

大学等・学校別エントリーチーム数

大学・学校名	応募チーム数
新潟大学	5
新潟大学大学院	1
新潟県立大学	6
新潟薬科大学	2
新潟薬科大学大学院	1
新潟工科大学	5
新潟医療福祉大学	3
新潟食料農業大学	5
開志専門職大学	1
長岡大学	1
長岡工業高等専門学校	2
新潟県農業大学校	1
新潟ビジネス専門学校	4
国際調理製菓専門学校	8
合計	45

● 特別会員

亀田製菓(株)	(株)ブルボン	(学)新潟総合学園
一正蒲鉾(株)	サトウ食品(株)	新潟県農業協同組合中央会
(株)第四北越銀行	(株)栗山米菓	亀田郷土地改良区
(株)新潟日報社	(株)新宣	(株)エイケイ
亀田商工会議所	(株)新潟クボタ	NST新潟総合テレビ
にいがた22の会	(株)日本食糧新聞社	五十嵐建設工業(株)

● 正会員

新潟県信用組合	新潟工科大学産学交流会	新潟工科大学
(株)第一印刷所	(株)キタック	(株)日本旅行新潟支店
(株)本間組	北越工業(株)	(株)田中組
石本酒造(株)	丸榮製粉(株)	(医)愛仁会 亀田第一病院
(株)ミカサ	鍋林(株)ヘルスフーズ事業部	(株)ひらせいホームセンター
神山物産(株)	TeNYテレビ新潟放送網	ワタキューセイモア(株) 新潟営業所
ハセガワ化成工業(株)	(株)栗田工務店	(株)エヌエスアイ
藤屋段ボール(株)	三和薬品(株)	(株)トップライズ
(株)タケショー	松田産業(株)	(株)ウオシヨク
(株)新潟博報堂	セツソカートン(株)新潟工場	(株)ヤマダ
BSN新潟放送	東邦産業(株)	(株)新潟国際貿易ターミナル
新潟陸運(株)	麒麟山酒造(株)	八海醸造(株)
(株)新潟食品運輸	(株)加島屋	(株)荏原製作所 北陸支社
月島食品工業(株)	(株)日本フードリンク	(株)せいだ
(株)ニッポン関東支店	(株)ディモルギア	
日本甜菜製糖(株)	UX新潟テレビ21	
(株)鳥梅	イカリ消毒(株)	

● 個人会員

古泉 肇	藤島 安之	和田 充彦	高畑 昭文	廣瀬 利雄	山口 勉	高橋 常考	田村 敏郎
杉本 克己	近藤 鴻	大川 秀雄	大倉 正寿	吉岡 謙一	古口 日出男	坂田 武利	門脇 基二
大谷 勝男	佐藤 久栄	田中 敏明	青木 清	阿部 徳威	佐藤 勉	佐藤 清一	野上 文彰
板井 茂	清水 良一	田中 作一	新保 房機	古泉 榮三	佐藤 純	倉嶋 則昭	塚本 太一
大越 斎	野口 正晴	酒井 定勝	齋藤 秀明	松本 裕志	當野 篤	高山 利夫	久保田 紳一
河瀬 三千夫	和澄 孝男	五十嵐 修	望月 健三郎	山田 雄治	鈴木 正二	竹石 松次	古泉 幸代
大森 ゆかり	高橋 慶三	阿部 昭一	渡邊 信也	宇野 勝雄	赤塚 義廣	坂井 俊一	鈴木 伸作
佐藤 銀治郎	加藤 寿一	石附 由美子	齋藤 博文	齋藤 幸広	田辺 俊文	小田 静二	渡邊 徹
中村 好彦	栗田 浩	栗田 朋子	阿部 文仁	高尾 茂典	五十嵐 豊	久代 勝英	古泉 幸一
加藤 純子	高倉 広利	清水 泰成	阿部 愛子	大島 煦美子	宮口 澄子	青木 太華子	佐藤 金治郎
五十嵐 康子	五十嵐 早苗	佐藤 文男	高橋 征男	高橋 克郎	田村 泰生	山崎 尉生	中村 雪絵
村山 浩太郎	稲葉 晋	川崎 千春	秋山 正之	松川 忠史	濱野 剛	小川 善弘	池田 祥護
星野 幸三	糸満 盛人	伊豆 智	小林 哲也	岡田 茂久	遠山 幸男	小野 隆樹	大橋 祐貴
前田 穰	桐原 隆晃	長井 基樹	岸田 良満	中村 健一	小林 宏志	柳澤 敏郎	遠藤 俊介
葉葦 正幸	津島 章彦	舟崎 義朗	小川 陽一	大日方 聡	宮下 好文	坂田 浩一	田中 雅史
藤間 佑輔	品田 卓也	渋谷 政道	村山 雄亮	北爪 文義	近藤 正	高橋 佑	荒井 弘美
重泉 篤史	本間 康弘	中野 克之	高橋 誉	最上 正人	石田 勇介	佐藤 正尚	下條 幸二
廣川 正通	小谷 尚志	高橋 道映	田中 弼	佐藤 浩晃	村山 和恵	小林 達	長谷川 久晃
酒井 栄一郎	佐藤 聡	小林 守	阿部 欣也	杉谷 浩一	榊原 由貴	金田 季之	宮島 泰
高崎 俊哉	高橋 裕作	小平 勝志	藤田 正明	池田 一史	宮嶋 一博	小嶋 孝代	渡邊 雄一郎
駒形 正明	阿部 貴美	大沼 成勝	丸山 智史	岡田 龍	小野 隆樹	田邊 威	高橋 大介
伊藤 雅明	秋堂 春美	田中 義夫	長谷川 克弥	山口 穰	田中 湖雄	牧 利幸	伊藤 正弘
本間 春治	早川 重男	田村 征司	樋口 正仁	伊積 豊	小林 稔	吉田 たかし	山本 善政